

HP Service Health Reporter ソフトウェアサポート一覧表

ソフトウェアバージョン: 9.30

本書では、HP Service Health Reporter (SHR) 9.30 のシステム要件と、サポートするアプリケーションの概要について説明します。

目次

ソフトウェアの必要条件	2
オペレーティング システム	2
サポート対象 Web ブラウザー	2
サポート対象 Java 環境	2
サポート対象データベース	2
サポート対象 SAP ビジネスインテリジェンスプラットフォーム	2
他の HP 製品との統合および共存	2
統合された製品	2
* 11.12 以降に限りエージェントアプライアンスをサポート (RTSM sync for appliance は 11.12 以降でのみ利用可能)	3
共存	3
サポート対象仮想技術	5

SHRのプレインストール要件およびインストール手順は、ソフトウェアのメディアに同梱の『HP Service Health Reporterインストールおよび設定ガイド』（Adobe Acrobat .pdf形式）に記載されています。最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

ソフトウェアの必要条件

SHR のインストールのソフトウェア要件は次のとおりです。

オペレーティング システム

サポートされるオペレーティングシステム:

- Microsoft Windows Server 2008 x64 Enterprise Edition Service Pack 2
- Microsoft Windows Server 2008 R2 x64 Enterprise Edition Service Pack 1
- Microsoft Windows Server 2003 x64 Enterprise Edition Service Pack 2
- Red Hat Enterprise Linux Server 5.5、6.0、6.2 (これらのバージョンそれぞれに固有の前提条件のライブラリについては、『HP Service Health Reporter インストールおよび設定ガイド』に記載されています)

サポート対象 Web ブラウザー

SHR がサポートする Web ブラウザは次のとおりです。

- Internet Explorer 8.x、9.x (互換モードのみ)
- Mozilla Firefox – 10.x ESR、17.x ESR

サポート対象 Java 環境

SHR は、JDK 1.7.0_xx をサポートします。

サポート対象データベース

SHR には、Sybase IQ 15.4 ESD 1.8 がバンドルされています。

サポート対象 SAP ビジネスインテリジェンスプラットフォーム

SHR がサポートする SAP ビジネスインテリジェンスアプリケーションは次のとおりです。

表 1: SAP ビジネスインテリジェンスアプリケーション

ソフトウェア	バージョン	説明
SAP BusinessObjects	XI 3.1 Service Pack 5、FP 3	このソフトウェアは SHR に組み込み済みです。

他の HP 製品との統合および共存

統合された製品

次の表に、SHR と統合可能な各種製品のバージョンの一覧を示します。

表 2: SHR と統合可能な HP 製品

製品	バージョン	備考
BSM	9.12, 9.13, 9.20, 9.22	
SiteScope	11.12, 11.20, 11.22*	
HP Operations Agent	11.0x、11.1x*	
HPOM for Unix	9.10	
HPOM for Linux	9.10	

HPOM for Solaris	9.10	
HPOM for Windows	8.16, 9.00	
Microsoft Exchange Server 2007/2010 SPI	13.xx	最新のパッチを使用。
Oracle Database SPI	12.xx	最新のパッチを使用。
Microsoft SQL Server Database SPI	12.xx	最新のパッチを使用。
IBM WebSphere AS SPI	07.xx	最新のパッチを使用。
Oracle WebLogic Server SPI	07.xx	最新のパッチを使用。
Microsoft Active Directory SPI	07.xx	最新のパッチを使用。
Business Process Monitor	上記の BSM バージョンを参照	
Real User Monitor	上記の BSM バージョンを参照	
BSM Operations Management (OMi)	上記の BSM バージョンを参照	
NNM iSPI Performance for Metrics	9.2x	最新のパッチを使用。

* SiteScope – 11.22 以降に限り VMware 仮想化をサポート

* 11.12 以降に限りエージェントアプライアンスをサポート(RTSM sync for appliance は 11.12 以降でのみ利用可能)

共存

次の製品は、SHR 9.30 と同一のシステム上に共存可能です。

表 3: SHR 9.30 と共存可能な HP 製品

製品	バージョン	説明
HP Operations Agent	11.10	SHR 9.30 のインストール後にエージェントがインストールされている場合、QCCR1A149034 修正プログラムをインストールする必要があります。

注: SHR 9.30 は、HP Service Health Optimizer (SHO) のどのバージョンとも統合または共存しません。SHO 9.20 と SHR 9.20 が同じシステムにインストールされている場合は、バージョン 9.30 にアップグレードする前に SHR を別のシステムに再インストールする必要があります。

SHR 9.30 にアップグレードする前に、次の手順を実行します。

1. SHR と SHO が共存しているシステムで、SHR データをバックアップします。
詳細については、『HP Service Health Reporter 9.20 インストールおよび設定ガイド』の「データベースのバックアップとリカバリ」の章を参照してください。
2. SHR 9.20 を別のシステムにインストールします。
詳細については、『HP Service Health Reporter 9.20 インストールおよび設定ガイド』を参照してください。

3. バックアップした **SHR** データを、手順 2 で **SHR** をインストールしたシステムにリカバリします。

詳細については、『**HP Service Health Reporter 9.20** インストールおよび設定ガイド』の「データベースのバックアップとリカバリ」の章を参照してください。

4. 新たにインストールした **SHR** インスタンスをバージョン **9.30** にアップグレードします。詳細については、『**HP Service Health Reporter 9.30** インストールおよび設定ガイド』の「**SHR** のアップグレード」の章を参照してください。
5. **SHO 9.20** がインストールされているサーバーから、**SHR 9.20** の古いインスタンスを削除します。

サポート対象仮想技術

次の表に、SHR が各デプロイメントシナリオでサポートする仮想技術を一覧で示します。

表 4: SHR 9.30 がサポートする仮想技術

デプロイメントシナリオ	データソース	サポート対象仮想技術
HPOM	HP Performance AgentまたはHP Operations Agent	VMware
		Microsoft Hyper-V
		Oracle Solaris Zones
		IBM AIX LPARs
Service and Operations Bridge (SaOB)	HP Performance AgentまたはHP Operations Agent	VMware
		Microsoft Hyper-V
		Oracle Solaris Zones
		VMware vCenter 4.x、 5.0
Application Performance Management (APM)	HP Performance AgentまたはHP Operations Agent	VMware
		Microsoft Hyper-V
		Oracle Solaris Zones
		VMware vCenter 4.x、 5.0
VMware vCenter	VMware vCenter 4.x、 5.0	VMware